

吹田市コミュニティバス車内デジタルサイネージへの広告掲載に関する業務仕様書

1 件名

吹田市コミュニティバス車内デジタルサイネージへの広告掲載に関する業務

2 目的

吹田市コミュニティバス車内にバス運行情報、行政情報及び広告枠が一体となったデジタルサイネージ（以下「DS」という。）の設置及び運用（以下「DS 運用等」）を行うとともに本市に広告料を支払う。

3 設置及び運用期間

令和５年３月８日から令和９年３月３１日まで

（コミュニティバスの運行が中止または廃止となった場合は期間が変更となる場合がある。）

4 業務内容

DS 運用等業者は次の業務を実施する。

（１）業務の実施及び協議

DS 運用等業者は、DS の仕様及び施工方法についてあらかじめ本市及び阪急バス株式会社と協議する。なお、DS 運用等業者は、DS の仕様変更等、業務内容を変更する場合は、事前に必ず本市及び阪急バス株式会社と協議しその承認を得るものとする。

（２）設置場所

DS を設置できる場所は、本市が指定する場所とし、次のコミュニティバスの車内に設置する。また、運行事業者が変更となった場合も期間内は設置できるものとする。

| 路線系統 | 車両数 | 設置場所 | 運行事業者 |
|---------------------------------|-----|---------|----------|
| ・あおばルート ・ひまわりルート ・たけのこルート | 5 | 運転手座席後方 | 阪急バス株式会社 |

なお、詳細な設置場所については、別途本市及び阪急バス株式会社と協議して定める場所とする。

（３）DS の設置

DS の設置に係る作業は、DS 運用等業者が自己の負担により行うものとし、作業を第三者に委託してはならない。施工方法の協議の結果、本市及び運行事業者の希望に

より既設部品の交換、掲示板等の移設が必要となる場合は、その費用の負担について別途本市、DS 運用等業者、運行事業者が協議して定めるものとする。

また、車両の新規入替があった場合も DS 運用等業者の負担で、DS を設置することとする。

（４）設置機器の規格

ア 規格

高さ 310 mm × 横幅 650 mm × 奥行き 62 mm（左記以内であること）

なお、液晶画面については下記の大きさ以上であること。

21 インチ以上（高さ 250 mm × 横幅 400 mm）

イ デザイン・材質等

色覚障害者に配慮した配色とすること。

文字の大きさ等高齢者に配慮したユニバーサルデザインとすること。

路線バス全体の雰囲気을考慮した色合い、デザインとすること。

本体の角や縁が鋭利とならないよう加工すること。

安全で燃えにくい材質を使用すること。

薄型液晶モニターを配備すること。

電気については、消費電力量の低減に資する技術の導入等、環境への配慮を十分行ったものとする。また、電源の投入、遮断が容易であること。

ウ 表示する情報

バス運行情報

本市が指定する市の情報等

DS 運用等業者が掲載する広告（本市の規定に基づくもの）

サービス向上となる情報

エ その他

情報内容については、事前に見本を提出し、承認を得ること。

情報内容は、広告業者の変更等に伴う広告の更新、運行情報等の部分的な修正はその都度行うこと。

（５）放映内容

DS に表示する内容は、行政情報と民間企業等を広告主とした広告の交互放映とし、静止画又は音声の出ない動画とする。また、それぞれの枠数は協議して定めることとする。

（６）行政情報の放映

本市が DS 運用等業者に作成を依頼し、DS 運用等業者が原則、コンテンツを作成すること。

また、DS 運用等業者は本市にコンテンツ制作用のフォーマットを提供するなど、運用促進すること。

行政情報の更新は、本市からの要望に応じて月に 1 回程度遠隔配信を行うものとする。ただし、緊急度が高く至急の配信が必要と思われる内容については適宜対応を行うこと。

(7) 広告の募集及び掲載の決定

DS 運用等業者側で広告の募集、制作等コンテンツの作成を行うこと。

DS 運用等業者は、広告主の募集にあたり自らが広告の募集者であることを明確にするとともに、本市が広告の募集者であるかのような誤解を与えることのないよう十分に配慮すること。

掲載する広告主の選定及び広告の内容について、吹田市広告掲載要綱及び吹田市広告掲載基準並びに関連法令を準用するとともに、決定次第、本市に報告をすること。

広告の更新は、広告内容に変更がある場合、広告の新規申し込み・解約が生じた場合に随時更新を行うものとする。

(8) 放映の時間帯

各路線の始発便から最終便までとする。

(9) 放映時間

1 枠当たりの放映時間は基本 15 秒とする。ただし、(5) に定めるそれぞれの枠数に 1 枠当たりの放映時間 15 秒を乗じて算出された上限時間内で、最大 30 秒までを 1 枠として放映できるものとする。

(10) 配信方法

LTE 回線を利用し、バス運行時（DS が起動中）の当日に DS 運用等業者から遠隔配信を行う。（通信料及び事務手数料など回線に関する一切の経費は DS 運用等業者負担とする。）

遠隔操作で行政情報・広告の配信が可能であること。（USB での更新は不可）

(11) 保守対応

DS 運用等業者は、システム全体の保守管理を行うとともに、不具合が発生した際は、遠隔操作によるリモート対応もしくは技術者の派遣等により、迅速な復旧に努めること。

5 広告掲載料

落札金額をもって、年額広告掲載料とする。（消費税相当額を含む。）

広告掲載料は、年度毎に本市の発行する納入通知書により、本市の指定金融機関へ別途指

定する期日までに一括して納入すること。

6 DS 運用等業者の責務

- (1) DS 運用等業者は、広告に関する苦情その他の問題が生じたときは、全ての責任を負い、直ちに問題の解決に対応するものとする。
- (2) 広告主又は広告内容について、要領、基準及びこの仕様書により、広告を募集することに支障が生じた場合、DS 運用等業者は、速やかに本市にその旨を通知し、当該広告を削除する等の必要な措置を取ること。また、それに伴い生じた費用や賠償金などは DS 運用等業者が負担することとし、本市は責任を負わないものとする。
- (3) DS 運用等業者は、広告主の応募がない場合その他広告掲載ができない場合においても、自らの責任において、この仕様書に定めるDSの規格等を満たしたものを設置すること。
- (4) DS 運用等業者及び広告主による第三者へ損害が生じて、本市は責任を負わないものとする。
- (5) DS の破損、故障、事故があった場合の対応等、一切の保守管理を DS 運用等業者の責任と負担において行うこと。

7 原状回復

DS 運用等業者は、期間が満了したときは速やかにDSを撤去し、原状回復を行うこと。
なお、原状回復に要する費用は全て DS 運用等業者が負担するものとする。

8 その他

- (1) 機器一式の設置及び撤去、修繕など、設置及び運用に係る経費の一切は DS 運用等業者の負担とする。
- (2) 本仕様書に定めることのほか、協議が必要な事項が生じた場合は、本市及び DS 運用等業者が協議して定めることとする。